

第29回全京都車いすハンドボール大会

兼全国交流大会実施要項

1. 目的 車いすハンドボールが、地域・施設・学校・クラブ等で実施され、障害者スポーツとして定着しつつある。
更にこれを普及・振興し、障害のある人々のスポーツの日常化と、スポーツ活動に参加する人々の層の拡大を図り、あわせて広く交流の場とすることを目的とする。
2. 主催 (一社) 京都障害者スポーツ振興会
京都日吉ヶ丘ライオンズクラブ
(公財) 京都市障害者スポーツ協会
3. 後援 京 都 府・京 都 市
京都府教育委員会・京都市教育委員会
(公財)京都府体育協会・京都府ハンドボール協会
(公財)京都新聞社会福祉事業団
4. 開催日時 平成30年11月25日(日)
午前9時30分～午後4時30分
受付 9:00～9:30
開会式 9:30～9:50
試合開始 10:10
閉会式 16:00～16:30
5. 会場 京都市障害者スポーツセンター 体育室
京都市左京区高野玉岡町5 TEL075-702-3370
6. 競技方法
 - (1) 競技規則は、京都障害者スポーツ振興会編「車いすハンドボール競技規則」(平成4年10月1日制定)及び大会申し合わせ事項による。
 - (2) チームは、監督1名、コーチ2名、選手10名 計13名以内とする。
また、監督・コーチは選手を兼ねることができる。その場合、選手名簿にも氏名を記入すること。
 - (3) 参加チーム数により、トーナメント戦方式またはリーグ戦方式とし、競技力・安全性を考慮して、二部に分けることがある。
 - (4) 競技運営上、試合時間を短縮することがある。

7. 表彰 1位～3位のチームには賞状、盾、メダルを授与する。

8. 参加申込

(1) 所定の申込用紙に必要事項を記入し、下記あてに郵送又はFAXで申し込むこと。

(11月12日(月)必着のこと)

〒606-8106 京都市左京区高野玉岡町5

京都市障害者スポーツセンター内

(一社)京都障害者スポーツ振興会 (TEL・FAX075-712-7010)

(2) 参加料 1チーム 2,000円

(当日、受付で納めてください)

9. その他

(1) 競技中の事故等については、応急手当の他、主催者が加入する保険の範囲(けが、骨折等が対象)で保障する。

※出場に際しては、医師の診断を受ける等万全な体調で出場のこと。

(2) ホームページ、マスメディア等に写真や大会成績が掲載されることがありますので、あらかじめご了承ください。

(3) 問合せは、上記の(一社)京都障害者スポーツ振興会まで

大会申し合わせ事項

チーム編成について、競技規則では上肢に障害の伴う者2名以上含むとあるが、常時競技を行う6名の選手の内訳は次のとおりとする。

1. 車いす使用者(車いす使用者及び下肢障害者)2名とし、障害のない者1名含んでもよい。ただし、児童生徒及び障害児者施設等でチームを編成する場合は、車いす使用者2名の要件を満たさなくてもよい。

(例：知的障害児者5名と指導者1名での参加も可能)

2. 1の基準でチームが編成できない時やボランティア等だけでチームを編成するときはオープン参加とする。

第29回全京都車いすハンドボール大会兼全国交流大会参加申込書

チーム名							
監督名				コーチ名			
氏名	年齢	性別	区分（該当するところに○印を）				
主将	歳	男・女	①	②	③	④	⑤
選手	歳	男・女	①	②	③	④	⑤
選手	歳	男・女	①	②	③	④	⑤
選手	歳	男・女	①	②	③	④	⑤
選手	歳	男・女	①	②	③	④	⑤
選手	歳	男・女	①	②	③	④	⑤
選手	歳	男・女	①	②	③	④	⑤
選手	歳	男・女	①	②	③	④	⑤
選手	歳	男・女	①	②	③	④	⑤
代表者名 _____							
連絡先住所 〒 _____ 電話 () _____							

<区分の説明>

- ①車いす常用 ②上肢障害 ③下肢障害 ④その他の障害 ⑤障害なし

弁当希望チームは、個数を記入ください。 弁当 @700円× _____ 個を申し込みます。 金額 _____ 円								
希望駐車台数（会場の駐車スペースは、あまりありませんので、できるだけ乗り合わせてきてください）								
車種	普通車	台	ワンボックス	台	マイクロ	台	合計	台

※上記の個人情報は、当該目的以外に使用いたしません。

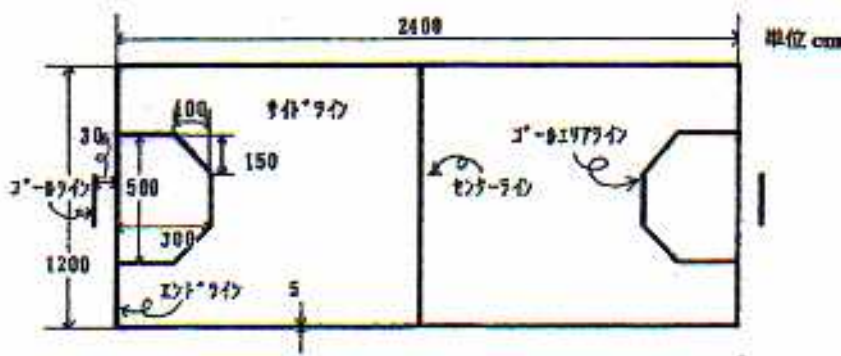
車いすハンドボール競技規則

平成2年 9月1日改正
平成3年11月1日一部改正
平成4年10月1日一部改正
(一社)京都障害者スポーツ振興会

1. 施設・用具・服装

(1) コート

原則として、次のとおりとする。



(2) ゴール

原則として、高さ128cm×横140cm～153cmのゴールを使用し、エンドライン後方30cmのゴールライン上に設置する。

(3) ボール

原則として、直径16cm～18cmのソフティボールを使用する。

(4) 服装

原則として、チームは同一のユニフォーム又はゼッケンを着用する。

2. チーム

- *ゲームは、車いす使用者6名（フィールドプレーヤー5名、ゴールキーパー1名）で行い、上肢に障害を伴うもの2名以上を含むものとする。
- *交代競技者の数は、特に定めず、ボールデッドの時点で、審判に申し出て自由に交代できる。
- *ハーフタイム・休憩の時、審判に申し出てポジションチェンジができる。

3. 試合時間とタイムアウト

- *ゲームは、ハーフタイム10分をはさんだ、前・後半各20分とする。
- *同点の時の延長時間は、休憩5分後、10分とする。

* チームは、前後半各 2 回（一回につき 30 秒以内）作戦タイムをボールデッドの時点で要求できる。

* レフェリータイムアウト・作戦タイム・競技者交替の時は、時計を止める。

4. 競技の開始

* 両チームの代表によるトスを行い、勝ったチームがボールの所有かコートサイドのどちらかを選択する。

* ボールを所有したチームのセンターラインからのスローで競技を開始する。後半は、相手チームのスローオフとし、延長の場合は、あらためてトスで決める。

* 得点後のスローオフは、ゴールキーパーのゴールエリアからのスローにより行う。

5. 得点

* 得点は、ゴール毎に 1 点とする。

* ボールが半分以上ゴール内に位置すれば得点とする。

6. ボールのあつかいかた

(1) 許されるプレー

* 下腿、又は足以外の身体（車いすを含む）の部分でプレーすること。

* ボールを保持し、車いすを連続 3 回プッシュ（ブレーキングは含まない）すること。
電動車いすの場合は、最高 3 秒間移動とすること。

* ボールを一方の手から他方の手へと持ち替えること。ジャググルも許される。

(2) 禁止されるプレー

* 下腿、足でプレーすること。

* 腰をうかしてプレーすること。

(3) ゴールエリア内でのゴールキーパーのプレーは、(2) 以外制限はない。

* ゴールエリア外でのゴールキーパーのプレーは、フィールドプレーヤーと同様の制限を受ける。

7. ボールのうごき

* ラインアウトしたボールは、最後に触れたプレーヤーの相手チームのボールとなる。
サイドライン サイドからスローイン

エンドライン オフェンス側のプレーヤーが触れた時 ゴールキーパーボール

デフェンス側のプレーヤーが触れた時 コーナーからスローイン

ただし、ゴールキーパーに触れてエンドラインをラインアウトしたボールは、ゴールキーパーボールとする。

* ボールのラインアウト・インの判断は、平面とし、ゴールエリアに関わる判断も同

様とする。

- * センターラインをはさんで味方にスローインはできない。
- * オフェンスの時、自コート・相手コートそれぞれにおいて、味方どおし最低1回パス（1パス）しなければならない。プレーの再開される位置により、自コートでのパスは必要がない。また、サイドラインからのスローインも1パスとみなす。
- * オフェンスの時、故意にセンターラインをはさんで自コートにバックパスすることはできない。
- * ゴールキーパーは、自コート内にパスしなければならない。ゴールキーパーのゴールエリアからのパスは、1パスとしない。
- * ゴールエリアライン付近のオフェンス側の反則は、ゴールキーパーボールとする。
- * ゴールキーパーボール及びペナルティスロー以外の反則は、その時点における最も近いサイドラインから、相手チームのスローインとする。
- * ゴールエリアライン付近でのデフェンス側の反則に対して、ペナルティスローが与えられる。方法は、ゴールエリアラインから3名による10秒以内の攻撃とする。
- * ゴールに当たって再度コートに入ったボールは、インプレーとする。
- * イーブンボールに対して、両チームのプレーヤーが同時にコンタクトした場合は、その場所のコート側のチームのボールとする。

8. 反則

- * **トラベリング** ボール保持者が車いすを連続4回プッシュしたとき（ブレーキングは含まない）電動車いすの場合は3秒をこえて移動した時。
- * **5秒ルール** スローインの時、ホイッスルが鳴ってから5秒を超えた時。
ゴールキーパーが5秒を超えてパスしなかった時。
- * **30秒ルール** 1回の攻撃で、センターラインを超えてから30秒を超えた時。
- * **ハッキング** 相手の保持するボールを、奪い取ったり、手でたたき落とすこと。
- * **ブロッキング** 過度に身体や車いすに触れて、相手の動きを妨げること。
- * **プッシング** 故意にボールをぶついたり、突っ込んだり、相手に対して危険な動作をすること。
- * **フロアタッチ** ボール保持者の身体のいずれかの部分が床に触れた時。
(ただし、足で車いすを操作する者の足は除く)
- * **フロントピックアップ** 床のボールをフットレストの前から拾った時。
- * **ストップボール** 車いすの下にボールが入り停止した時。
- * **ゴールエリアイン** フィールドプレーヤーがゴールエリアに入った時。
- * **エンドラインアウト** ゴールキーパーがデフェンス中エンドラインを出た時。
- * **ストーリング** 故意に試合の進行を遅らせると、審判が判断した時。

9. その他

(1) 判定に関すること

* 審判の判定には、絶対に従うこと。

* アンフェアなプレーについては、警告する。警告を2回受けたプレーヤーは退場しなければならない。

* ボールデッドとは、ボールがラインアウトしたり、反則があつて攻撃権が移動するときの状態をいう。

* 審判は、試合の進行中プレーヤーが怪我をした時、あるいは怪我をすることが予想されると判断した時、車いす等を修理する場合にレフェリータイムアウトをとる。ただし、車いすの修理に2分以上要する場合は、交替競技者を出すか、チームとして作戦タイムをとらねばならない。車いす交換は認める。

* 両チームのプレーヤーが同時に反則した場合は、オフェンス側の優位を認める。

* 試合の進行上、支障がなければ反則をとらない場合がある。

(2) チームの編成については、当分の間、申し合わせ事項によるものとする。